

インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 五味 潤秀幸

幹 事 手塚 正智

会報・雑誌委員長 吉田 恭平

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 宇都宮市東宿郷3-2-5-803 TEL.028-638-5125 FAX.028-638-5128

通算2801号 2018年8月21日(晴れ) 第7回例会 会員数123名 列席70名 出席率57.27%



点 鐘 五味 潤会長
司 会 副SAA 秋元 会員

- ◇ロータリーソング「奉仕の理想」
- ◇本日のランチ 冷麦 かき揚げ いなり寿司



ビジター紹介 稲見 副会長

- ◇卓話講師 青少年交換プログラム一年交換学生 宇都宮商業高等学校3年 小石川里緒様
- ◇米山記念奨学生
チョンセンチャン カムニーサイ君
- ◇宇都宮商業高等学校 宇商マーキュリーインターアクトクラブ 顧問 水本 賢吾 様
宇商マーキュリーインターアクトの皆様4名



会長挨拶 五味 潤会長

皆さん、こんにちは。先週はお盆で例会は休会でした。去る8月15日、戦後73回目の終戦記念日で戦没者の追悼式がありました。平成で最後の式になると思いますが、天皇陛下のお言葉の主旨は、戦争の記憶を継承せよ、という感じだと思います。戦争体験者や遺族の方が高齢化して少なくなっています。新しい天皇陛下のもと継承されることと思います。西日本豪雨災害義援金ですが、7月に3回募金のお願いをしたところ134,388円集まりました。ご協力ありがとうございました。先日の日曜日、第22回インターアクト年次大会に清水会員と行って参りました。県内17の高校が参加していました。ほとんどの学校が足尾の植樹をして、半分以上の学校は台湾の高校生との交

流をしているとの話を伺いました。宇商マーキュリーは出来ばかりですからいろいろ支援を考えなければと思っています。本日は一年交換学生の小石川さんから報告があるのとここで楽しみにしています。

◇奨学金の授与

米山記念奨学生

チョンセンチャン カムニーサイ君



幹事報告

手塚 幹事

- ◇R財団の地区補助金の支給額280ドルに決定。補助金とスマイルのお金を併せて大船渡市に桜の苗木の植樹をする事業を実現します。
- ◇西日本豪雨災害義援金の報告
募金箱134,388円とスマイルを併せて合計15万円、ガバナー事務所を通じ被災地に寄付。
- ◇8月22日18時30分~ ホテルニューイタヤにて五味潤年度第1回長期計画検討委員会開催。
- ◇宇都宮東RC夫人の会の総会に欠席した夫人会員へ資料をレターBOXに配布。お渡しを。
- ◇クラブ現況報告書レターBOXに配布。
- ◇ガバナー公式訪問の写真、レターBOXへ配布。



委員会報告

◇出席委員会

轟 委員長

<皆出席表彰・7月分>

連続28年 太城 敏之会員
連続11年 菊地 正幸会員
連続10年 金澤 正邦会員
連続9年 片嶋 常隆会員
通算1年 山本 修一会員

◇青少年奉仕委員会

小林(正) 委員長

小石川さんの帰国報告と併せて宇商マーキュリーIACのご紹介をさせていただきます。

※宇商マーキュリーIAC会長の北畑美倫様よ

りご挨拶のあと、顧問の水本賢吾様、幹事の齋藤海港様と横田美咲様、会計の佐々木咲様、小石川里緒様の紹介がありました。



卓話

「帰国報告ーフランスでの生活を振り返って」
一年交換学生 小石川 里緒さん



皆様、こんにちは。ロータリー青少年交換プログラムでフランスに派遣させていただきました。

このような素晴らしい経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

ースライドにて説明ー

私が派遣させていただいた地区は1730地区で、ホストクラブはVILLENEUVE LOUBET BAIE DES ANGES RCです。派遣期間は8月下旬から7月上旬までの10ヶ月間でした。第1ホストファミリーに4ヶ月、第2・第3ホストファミリーに3ヶ月ずつお世話になりました。第1ホストファミリーは、初めてのホストファミリーということで、何もわからなかった私の相談や悩みを聞いてくれて、家族のように接してくれました。第2ホストファミリーは、先週から旅行で日本に来ており、昨日は私の家族と大谷を観光、夜は餃子でおもてなしをしました。第3ホストファミリーのホストマザーは外国人向けのフランス語の先生で、毎晩フランス語を教わることが出来ました。誕生日にサプライズパーティーを開いて下さってホストファミリーや友達が集まり、感激して号泣してしまいました。日本と違う文化や習慣の中での生活はとても刺激的で驚くことばかりでした。

私が通っていた高校はニースから車で1時間程の場所にある、リセ・シモンベール高校で、2年生の文学クラスに入りました。文学クラスの授業は英語やフランス語を重視した時間割になっています。放課後は音楽室で楽器を引いたり、クラス全員で映画館に行ったりと充実した毎日をたくさんの友達と過ごすことが出来ました。季節ごとのイベントを学校全体で楽しみ、10月のハロウィン、12月のクリスマス、2月のバレンタインデー、4月の仮装カーニバルでは友達と浴衣を着て一日過ごしました。5月には4泊5日で行なわれたギリシャへの修学旅行がありました。

クラブ活動ではバスケットボールクラブに参加しました。学年、男女、関係なく練習を行ない、

毎週水曜日の放課後に思いっきり体を動かすことが出来、とても良かったです。嬉しかったことは、日本好きの子達がとても多かったことです。クラブの中でも一番の人気があったのが、日本クラブでした。そこで日本の文化を紹介する機会があり興味深く話を聞いてくれました。イベントやスポーツを通して学年、クラス関係なく、日本に帰国した後でも、先生やクラスメートとメールでやり取りするほど、深い絆を築くことが出来ました。国を越えてたくさんの友達と関わる事が出来たのは、私の一生の宝物だと思います。

次にロータリーでの活動についてお話させていただきます。1730地区にはアメリカ人4人、カナダ人1人、オーストラリア人1人、ブラジル人1人、日本人2人の合計9人のインバウンドがおりました。月に1度の例会と地域で行なわれるロータリーのイベントへの参加、そしてインバウンドとのオリエンテーションが主な活動です。4月には平和の祭典というロータリアンが集まるパーティーに招待され、日本の文化を紹介出来る時間があったので、ソウラン節を踊りました。また、10カ月を通して募金活動を行ないました。青少年交換学生の皆が写っているカレンダーを作成し、販売したお金をポリオワクチンを必要とする子ども達に寄付しました。私でも世界中の助けを必要としている人達に奉仕することが出来ると実感し、嬉しく思うと同時に、このようなプロジェクトに興味を持つ良い機会になりました。一大イベントであるバストリップでは、他の地区も併せて約40人で、フランス、ドイツ、チェコ共和国、オーストリア、イタリア、スイスの6カ国を10日間かけて回りました。車内やホテル内で他の国の子達と交流し、自国について話し合う機会があり、私の人生観が大きく変わりました。

この交換留学プログラムは、私にとってたくさんの発見、驚き、感動、多くの刺激、大切な人達との出会いがあり、大切な思い出に溢れた10ヶ月間でした。プログラムの面接時に、「世界で戦争や紛争が起きているが、世界平和のために、今何をすべきだと思いますか？」と質問され、当時の私はうまく答えることができませんでした。しかし、留学期間を通して、もう一度自分の胸に手をあて、問い正してみました。文化、宗教、言葉の壁を越えた小さな友情の絆がひとつひとつ繋がりが、広がっていくことで大きな輪となり、それはいつしか世界の平和へと繋がっていくのではないかと、このプログラムを通して強く感じました。出国前に私の将来の夢は起業する事と申しましたが、プログラムを経てもうひとつの夢が出来ました。それは、皆様のようにロータリアンになることです。そして、日本だけでなく、世界に通用する起業家になりたいと思っています。